

相・続・通・信 第10号



相続手続支援センター

松本駅前店

〒390-0817 長野県松本市巾上 13-6

TEL0263-35-6481 / FAX0263-87-2117

長野駅前店

〒380-0921 長野県長野市栗田 292 番地

TEL026-223-1322 / FAX026-291-4163

ブログ：<http://blog.goo.ne.jp/souzokumatamoto>

相続手続支援センター

全国一斉セミナー開催のお知らせ

梅雨明け後もすっきりしない天気が続きましたね。やっと到来した夏を満喫する間もなく、もう虫の鳴き声を耳にし、秋の訪れを感じる今日この頃です。例年にくらべ短い夏となりましたが、みなさんいかが過ごされましたでしょうか。

さて、来る9月27日(日)相続手続支援センターでは、全国セミナーを開催致します。敬老の日にあわせ、**エンディングノートの書き方**についてお話をさせていただく予定です。今までエンディングノートのご紹介及び販売を行ってきました。その中で「書き方のセミナーを行って欲しい」という要望が多く寄せられたため、希望者を対象としたセミナーを開催することとなりました。

当日は、同センター編集・制作のエンディングノート「私の歩いた道」を用いて、講義を行います。幼少期の思い出や愛する人たちとの出会い、今までかかわってきた人たちの住所録、介護の手法や延命治療に対する意思、葬儀方法、財産分与、家族や友人へのメッセージなど基本的なことを順次簡単に書き込みします。既にノートをお持ちの方はノートをご持参の上お越し下さい。お持ちでない方には「当日」500円で販売をしています。是非幅広い年齢層の方にお越しいただき、同ノートに自分史をしたためることにより、これからの生き方を考えるきっかけにしていいただければと思います。ご予約の上、是非ご参加下さい。

日 程：9月27日(日) 10:00~12:00

会 場：松本市勤労者福祉センター2階 音楽室

定 員：20名 定員になり次第締め切らせて頂きます

参加費：無 料

持ち物：エンディングノート「わたしの歩いた道」・筆記用具

(同センター編集・制作のエンディングノート「わたしの歩いた道」をお持ちでない方には「当日」500円で販売をしています。)

講 師：相続手続支援センター専門相談員 打田 明弘



お電話にてご予約承ります!! **松本 0120 - 973 - 713**

09:00~19:00 (月~金)

10:00~18:00 (土・日・祝)

長野会場では、11月に同セミナーの開催予定です。今回、松本会場のみ開催ですのでご注意ください。

お知らせ!!

相続手続支援センター松本駅前店では、平日のみならず**土日**も営業をしております。平日はお仕事等で忙しい方、**土日**のご相談を是非ご利用下さい。訪問でのご相談も承ります。

皆様、はじめまして株式会社 一休さんのはなおかです。

弊社は相続手続支援センター様と業務提携をして、仏事に関する情報をお客様に提供しております。

今回は仏事に関するちょっとした豆知識をご紹介しますね。

お仏壇にはお位牌がつきものと思われていますが、もともとは仏教の教えではないのです。日本文化と仏教伝来の歴史にその秘密があります。

<< お位牌は、日本仏教の個性 >>

お位牌には、亡くなった方の戒名や死亡年月日を記して、「霊が宿るところ」として礼拝します。私たちに馴染み深いお位牌ですが、もともとは仏教のものではなく、中国の儒教のならわしで、亡くなった人の官位や姓名を板に記して祀っていた祭具が、禅宗と一緒に伝えられてきたのです。鎌倉時代には禅宗の寺院で用いられましたが、精神性を重んじる日本人の気質に合い、生きている人と亡き人の精神的繋がりとして江戸時代以降は一般家庭でも用いられるようになりました。

<< 白木の位牌から本位牌へ >>

葬儀の際には、僧侶が戒名を書いた野位牌（白木位牌）が用意されます。一般的には四十九日の法要の時に、野位牌から塗りの本位牌に替えます。野位牌は魂抜きを、本位牌は魂入れをしていただきます。野位牌はお墓でお焚き上げするか、お寺へお返しします。お位牌には宗派や男女別などの違いはありません。素材や塗りなどは、故人のイメージに合うものをお好みで選びます。現代的な仏壇にマッチしたお位牌もあります。地域や施主様の考え方によっては、親が亡くなったら独立している子の数だけお位牌を作って、それぞれの家に祀る「位牌分け」も行なわれます。それによるお仏壇内での他宗派のお位牌の同居も親族が納得すればやむをえないことでしょう。

<< 浄土真宗では過去帳や法名軸を作る >>

浄土真宗では、亡くなった人はすぐにお浄土に生まれ変わっているという考えから、葬儀で使った野位牌は本位牌に作り変えず、代わりに過去帳や法名軸へ、戒名や俗名・死亡年月日などを記録します。しかし、これも地域によって違いがありますので、一度菩提寺に確認してみると安心です。

<< お仏壇の主役はご本尊様 >>

基本は、ご本尊様より上にお位牌は置かないということです。お位牌の並べ方はいくつか習慣があります。たとえば、向かって右側に一番新しいお位牌を置き、そこから左側に古いお位牌を順に置きます。また、真ん中に先祖代々のお位牌を置き、それに向かって右隣に個人お位牌の一番古いものを、2番目に古いものは先祖代々のお位牌に向かって左隣に置いていきます。先祖代々のお位牌を中心に外側に向かって交互に並べます。

<< お位牌は整理する >>

お位牌を整理することは、ご先祖様との絆を確認することになるでしょう。今ある自分のご先祖様のおかげです。一般的には33回忌を迎えたら「先祖代々之霊位」へ、50回忌を迎えたお位牌はお仏壇から出し、お寺に預けると言われています。また、本位牌がたくさん増えてきたら、「回出位牌」に移します。「回出位牌」とは、ご先祖様を祀るお位牌のことで、戒名を書く札板が8～10枚入っています。通常は「先祖代々之霊位」を一番前にしておきますが、命日には該当する人の札板を一番前に回り出すことから、回出位牌と呼ばれています。



本位牌 回出位牌

お役に立てましたでしょうか？ 仏事に関することはよくわからない事が多いと思います。

弊社のホームページでは、仏事に関する役立つ情報を掲載しております。

是非、ご覧ください。 <http://www.ikkyuu-san.co.jp>